

PFASの評価に必要な分析技術

Webセミナー

近年欧米を中心に急速に進む、PFAS（ペルおよびポリフルオロアルキル化合物）の規制強化に向けた動きを受け、環境中のPFASの検出や分解処理技術の開発、PFAS含有製品の環境適合性の評価といった取り組みがますます重要性を増しています。こうした取り組みにおいては、分析技術によってPFASを高感度・高精度に検出することのみならず、PFASの物理的・化学的性質を正しく評価することが重要です。

当セミナーでは、PFAS対策技術コンソーシアムより産業技術総合研究所の谷保佐知さまをお招きし、PFASの評価に活用されている分析技術として、国際標準化されている水資料のLC-MS/MS分析のほか、大気試料のGC-Orbitrap™-HRMS分析や燃焼イオンクロマトグラフィー（CIC）による総フッ素測定をご紹介します。また、日東精工アナリティックさまよりCIC分析によるPFASのスクリーニングについてをご紹介します。さらに当社より、LC-MSによる生体内でのターゲットPFAS定量手法や、規制化学物質の評価に有用な分析システムなどをご紹介します。

製品や環境中の規制化学物質の評価に携わる皆さまに、お役立ていただける技術動向情報をまとめてお届けします。ぜひご参加ください。

開催概要

開催日時	2024年4月18日（木）
開催方式	オンライン（ON24）
申し込み期限	2024年4月11日（木） 17:00まで
参加費用	無料

※同業他社、代理店さまからの申し込みについてはお断りする場合がございますので、あらかじめご了承ください。
※下のリンク先からお申し込みください。セミナー視聴用のURLは、お申し込み時にご登録いただいたメールアドレスへお送りする予定です。

プログラムは裏面をご覧ください。



プログラム	
13:45～	ログイン開始
14:00～14:05	オープニング
14:05～14:35	<p>招待講演 PFASの包括的な評価のための測定技術の開発</p> <p>国立研究開発法人産業技術総合研究所 PFAS対策技術コンソーシアム 谷保 佐知 さま</p>
14:35～14:50	質疑応答／休憩
14:50～15:20	<p>招待講演 燃焼-イオンクロマトグラフィー (C-IC) を用いたPFAS類のスクリーニング分析</p> <p>日東精工アナリティック株式会社 営業推進部 守屋 万紀子 さま</p>
15:20～15:30	質疑応答
15:30～15:45	<p>規制化学物質の迅速な評価に有用なGC-MSおよび無機元素分析システム</p> <p>サーモフィッシャーサイエンティフィック株式会社</p>
15:45～16:10	<p>LC-MS：PFASのノンターゲット解析と生体内でのターゲットPFAS定量のポイント</p> <p>サーモフィッシャーサイエンティフィック株式会社</p>
16:10～16:25	質疑応答／クロージング

※セミナーの録音・録音、画面のスクリーンショットはお控えください。また、それらの二次利用もご遠慮ください。

※プログラムは予告なく変更となる場合があります。

※当日の進行状況により、各演題の開始時間が前後する場合があります。



お申し込みはこちら thermofisher.com/jp-envseminar

研究用のみ使用できます。診断用には使用いただけません。

© 2024 Thermo Fisher Scientific Inc. All rights reserved.

All trademarks are the property of Thermo Fisher Scientific and its subsidiaries unless otherwise specified.

実際の価格は、弊社販売代理店までお問い合わせください。

価格、製品の仕様、外観、記載内容は予告なしに変更する場合がありますのであらかじめご了承ください。

標準販売条件はこちらをご覧ください。 thermofisher.com/jp-tc LCMS281-A24020B

サーモフィッシャーサイエンティフィック株式会社

分析機器に関するお問い合わせはこちら

TEL : 0120-753-670 FAX : 0120-753-671

Analyze.jp@thermofisher.com

thermofisher.com

thermo scientific